

## 宮城県丸森町筆甫小学校の空間線量率の時間変化

石井慶造<sup>1)</sup>、長久保和義<sup>1)</sup>、櫻田喬雄<sup>1)</sup>、寺川貴樹<sup>1)</sup>、山崎浩道<sup>2)</sup>、松山成男<sup>1)</sup>、菊池洋平<sup>1)</sup>

東北大学大学院工学研究科<sup>1)</sup>、東北大学サイクロトロン・R I センター<sup>2)</sup>

## 1. 目的

平成23年6月29日から平成23年7月14日にかけて、宮城県丸森町の筆甫小学校および耕野小学校の校庭の除染を行った。その後の空間線量率の時間変化を調査する。

## 2. 方法

宮城県筆甫小学校の校庭の空間線量率の時間変化を分析する。

## 3. 結果（2011年日本原子力学会秋の大会で発表）

図1に、NaI放射線モニターで測定した宮城県筆甫小学校の校庭の空間線量率の時間変化を示す。除染した6月29日以降は空間線量率（0.5m）の値毎時0.7シーベルトが毎時0.23シーベルトに減少した。空間線量率は時間とともに減少していることが図から分かる。これはウェザリング効果と考えられる。

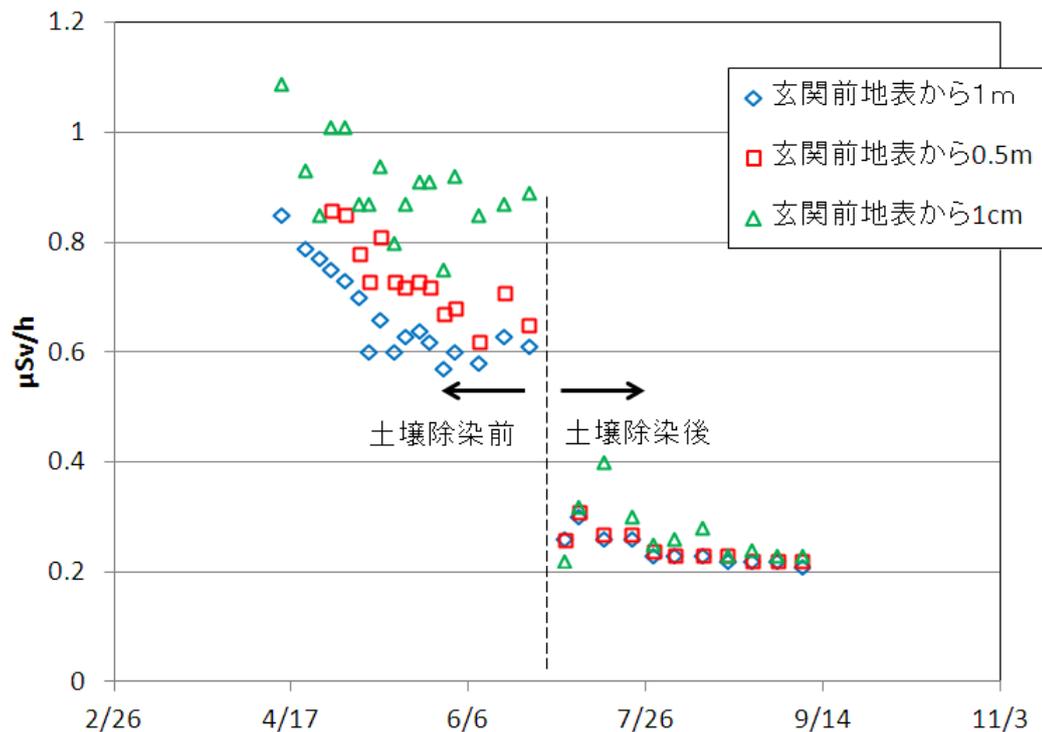


図1 丸森町筆甫小学校の空間線量率の時間変化